

第43回小鹿野町文化講演会 ～さかなクンの ギョギョツとびっくり講演会 in小鹿野～

日時●9月8日(土)14:30～(開場14:00～)

場所●小鹿野文化センター・ホール

講師●さかなクン(東京海洋大学名誉博士)

入場料●無料(全席自由、入場には入場整理券が必要です。)

【入場整理券】

配布開始●8月6日(月)8:30より入場整理券を配布します。

配布場所●小鹿野文化センター／両神庁舎・おもてなし課

配布時間●8:30～17:00

※入場整理券は、1人4枚までとさせていただきます。

※2歳以下のお子様は保護者のひざ上となりますので予めご了承ください。

問合せ●小鹿野文化センター・中央公民館 ☎75-0063



こんにちは。
町長です。

創立70周年を迎えた 埼玉県立小鹿野高等学校について



西秩父地域で唯一の県立小鹿野高等学校は、昨年度、創立70周年を迎えました。戦後間もない昭和23年4月に県立秩父農業高等学校小鹿野分校としてスタートし、昭和28年4月から県立小鹿野高等学校となり今日まで至ります。これまでに多くの卒業生を輩出し、小鹿野町内はもちろん国内外で活躍している人材を育てて参りました。

小鹿野高等学校は、社会情勢の変化により様々な変遷を歩みますが、近年では、1学年3クラスで定員120名となり、県内でも小規模校の一つとなっています。小規模校のメリットを生かし総合学科の高校として、生徒一人ひとりの多様性を伸ばす教育が行われています。

また、埼玉県教育委員会のご理解ご高配を賜る中で、県内では唯一、平成24年度から「山村留学」制度が試行されています。この制度は、高校で取り組んでいるスポーツや文化などに興味、関心を持つ遠方からの希望者を、小鹿野町の宿泊施設(現在は須崎旅館、国民宿舎両神荘の2カ所)で受け入れて、高校生活を送るものです。保護者の元を離れて宿泊しながら自然や文化が豊かな町で高校生活が送れることで、今まで40人を越える生徒がこの制度を利用しています。

特に野球部では外部コーチとして、高校、大学、社会

人野球で活躍し、その後、早稲田大学野球部や社会人野球プリンスホテルの監督、プロ野球読売巨人軍球団編成本部長補佐などを務められた石山建一氏を招聘して、多くの山村留学生が集まっています。

小鹿野高校野球部の活躍は、高校はもちろん当町にも活気や元気を与えています。

小鹿野高等学校は、当町をはじめとする西秩父地域にとっては不可欠な存在です。特に西秩父地域は広大な面積を有しますが鉄道もなく、他地域へ通学するのも大変不便な地域です。この地域に高等学校があるということは、町のイメージにとっても重要なことであり、また高校を卒業した人材が地域を担って行く力となっています。

ところで現在、埼玉県教育委員会では、社会ニーズに対応した特色ある高校の設置や、教育環境整備のための県立高校の再編整備についての方針を定め、再編整備の進め方として当町に関係する北部及び秩父地域で、2～3校の再編整備を行うことを検討しているとのことです。

当町としても埼玉県教育委員会、小鹿野高等学校と密接な連携を図りながら、このことに対応して参りたいと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎

町長の まち・ひと・しごと 魅力発信

～ 事業所訪問 vol.5 ～

「株式会社 秩父富士」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



▲金型の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

第5回の事業所訪問は、6月20日に株式会社秩父富士を訪問し、宮内隆社長にお話を伺いました。

株式会社秩父富士は、昭和42年(1967年)の高度成長期に設立し、昨年創設50周年を迎えました。当町には小鹿野事業所(本社)、両神事業所、長若事業所があり、全社員の98%が15km範囲内から通勤しているという地域密着型の大企業です。

案内していただいた小鹿野事業所は、主にコマンドスイッチやヒューズなどの制御盤等に組み込まれる様々な部品の製造を行っている制御製造部と操作表示機器、車載部品など金属部品と樹脂の複合成形品を製造する金型装置部の工場でした。工場内は作業の効率化を図る部材供給棚に傾斜をつけるなど、創意工夫が施されており、清潔感があり、整理整頓されていました。自動機工リアでは、製品の作業状況や終了予定時刻等をモニターで確認することができ、一日の作業効率が一目でわかるようにIT化されているため、社員一人ひとりが作業の進捗を共有すること



▲ITを活用した作業ライン

会社概要

代表者 代表取締役社長 宮内 隆
従業員数 486名
創 業 1967年2月
所在地 本社:小鹿野町小鹿野755-1
両神事業所:小鹿野町両神薄236-2
長若事業所:小鹿野町般若874-1
電 話 本社:0494-75-1111

ができます。また、社員一人ひとりが提案できる仕組み作りが確立しており、改善に取り組んだ事例などは掲示板で紹介され、社員の意欲と士気の高さが伝わってきました。

50年に渡り培ってきた特異な技術で、製造機械も自社開発するなど自社完結での完全一貫体制の強みを持っているからこそ、お客様の信頼も厚く、社員一丸となって粘り強いものづくりを目指している企業であると感じました。

わが社の主力製品

国内で最も歴史のある富士コマンドスイッチ。押しボタンスイッチ、セレクトスイッチをはじめ安全性に優れた非常停止用押しボタンスイッチなど各種の用途に応じた豊富な機種を揃え、海外規格の認証取得と高い品質で幅広く採用されています。短納期や少量の注文、製品のカスタムにも対応が可能です。ISO9001認証取得対象製品として、マグネットスイッチ、切替スイッチ、表示器、複合部品、シートキーボード、ICソケット、金型、ヒューズ、電気機器用プラスチック成形品があります。

ここに自信あり

製品に求められる多様なニーズをわが社の固有技術の様々な組み合わせで実現し、お客様の要求には、開発から製品設計、金型設計製作、製造設備設計製作、量産対応、品質保証まで、すべて自社内での完全一貫体制でお応えしています。



▲写真左から森町長、宮内社長